

# 京都

KYOTO

## 不思議ふしぎ?!

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

### 京都 検定

京都・観光文化検定試験  
京都商工会議所

## 春の季語？「御忌」の不思議

なには女や

京を寒がる

御忌詣

蕪村

百花繚乱の春、爛漫の桜が終わるところ、浄土宗の本山寺院では「御忌大会」という大切な法要が行われます。「御忌」とはこの場合

浄土宗宗祖・法然上人の忌日のことで、四月二十五日を期して三日から六日間行われ、本山が多い京都には全国から多くの参詣客が訪れます。その盛んなさまが風物詩となり春の季語ともなっているのです。

冒頭の句はその様子を詠んだものですが、何か気になりませんか？ いくら底冷えの京とはいえ、いくら女性

は冷え性が多いとはいえ、四月の末に「京を寒がる」とは……。実は御忌が四月に行われるようになったのは明治十年から。以前は一月でした。法然上人の命日は建暦二年(一一二二)一月二十五日。これは旧暦で、新暦なら二月末に当たります。これなら寒がる理由もわかりますね。しかしなぜそれが四月になったのでしょうか。

知恩院では京の一月は寒い

ため暖かい四月に、とのこと。恐らくその通りでしょうが、ならば新暦で、という選択肢はなかったのでしょうか。宗祖の忌日法要は宗派によって新旧の暦を使い分けて行われます。例えば親鸞聖人の忌日法要である報恩講は東本願寺では旧暦の十一月に、西本願寺では新暦に直した一月に行われています。では法然さんの場合は？

知恩院では京の一月は寒い

なのです。これでは四年に一度しかできませんね(笑)。つまり新暦の二月は不都合、三月はお彼岸でなにかと多忙、たものかと私は思っています。ところで法然上人のお墓を存じですか。ゆかりの強い京都にはいくつか法然廟があります。なかでもユニークなのが百万遍知恩寺です。写真をご覧ください。この門の形。何かの文字に見えますか？ そう、「念」という字をかたどったものです。ひたすら仏の御名を声に出して唱える称名念仏を説いた法然上人にふさわしいといえますね。このお寺、実に見どころの多いところで、ちよつと境内を歩くだけでこの会報原稿のネタがいくつも見つかります(笑)。この法然廟のそばにはお寺なのに鳥居付きのお墓があったりします。なぜなのか、是非ご自身でご確認ください。



百万遍知恩寺の法然廟門の形、何に見えます？



お寺に鳥居のお墓。一体なぜ？ 埋葬者はとても有名な戦国武将です

(京都学園大学非常勤講師 堤勇二)